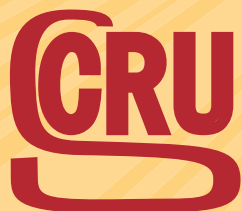
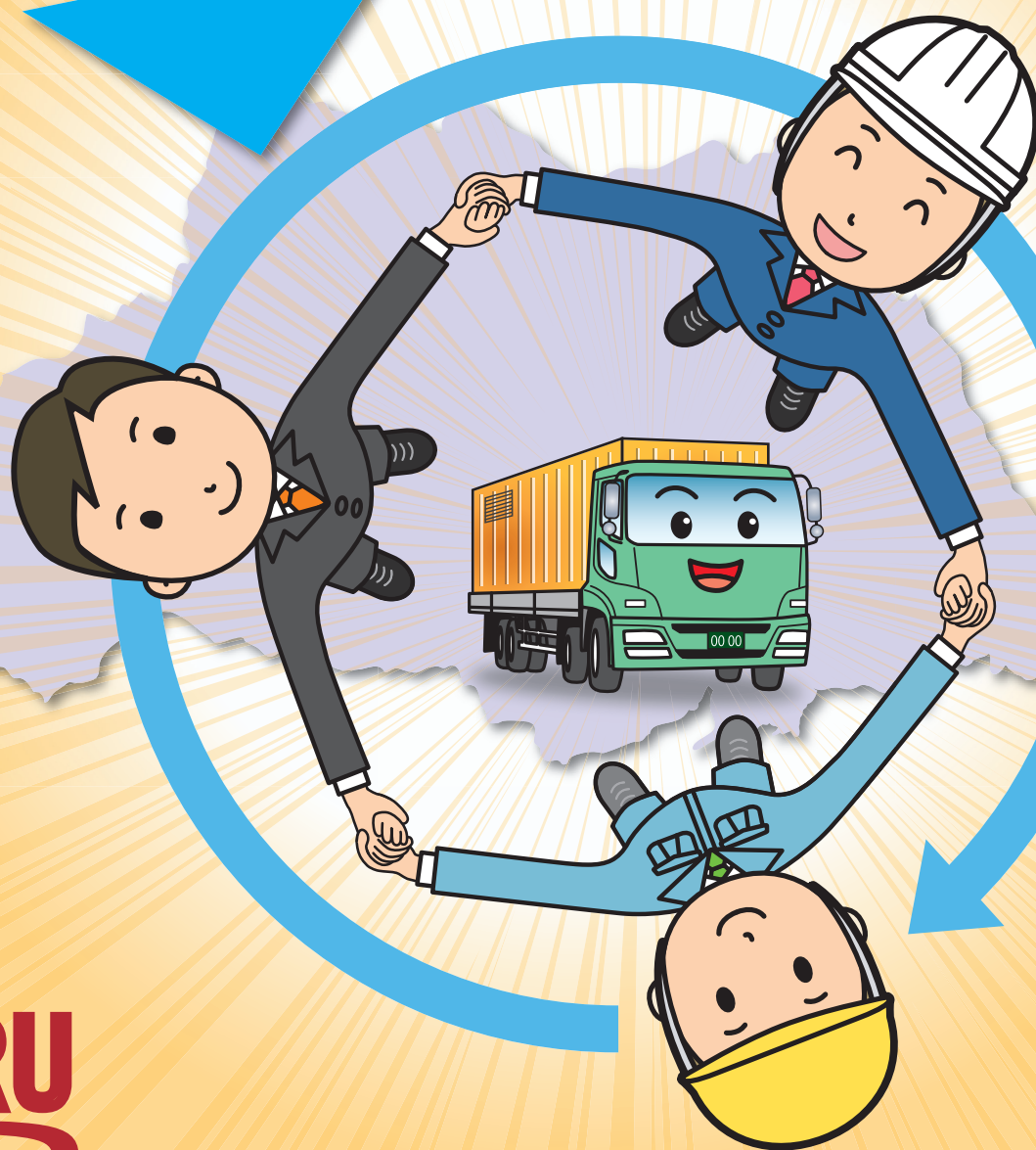


コンテナ ラウンドユース のすすめ



埼玉県からつながる

コンテナラウンドユースの輪



埼玉県コンテナラウンドユース推進協議会

埼玉県は、海上コンテナを往復利用することで、 空^{から}の輸送を減らす“コンテナラウンドユース”を 推進しています

コンテナラウンドユース（CRU）とは

コンテナラウンドユースとは、輸入で使用したコンテナを、港に返却せずに輸出で継続使用する取組です

長時間の空走行・港での待機時間を減らし、物流の効率化・ドライバーの労働環境の改善・CO₂の排出量削減が期待できます

現状

トラック輸送の往復の
どちらかは空の状態

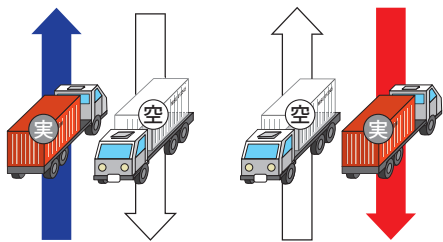
輸入企業

24万台
(50万TEU)

輸出企業

11万台
(18万TEU)

埼玉県



コンテナラウンドユース

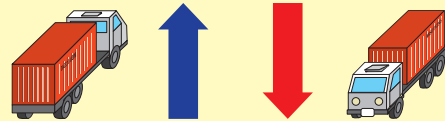
コンテナの継続利用で空の輸送を減らす



輸入企業

輸出企業

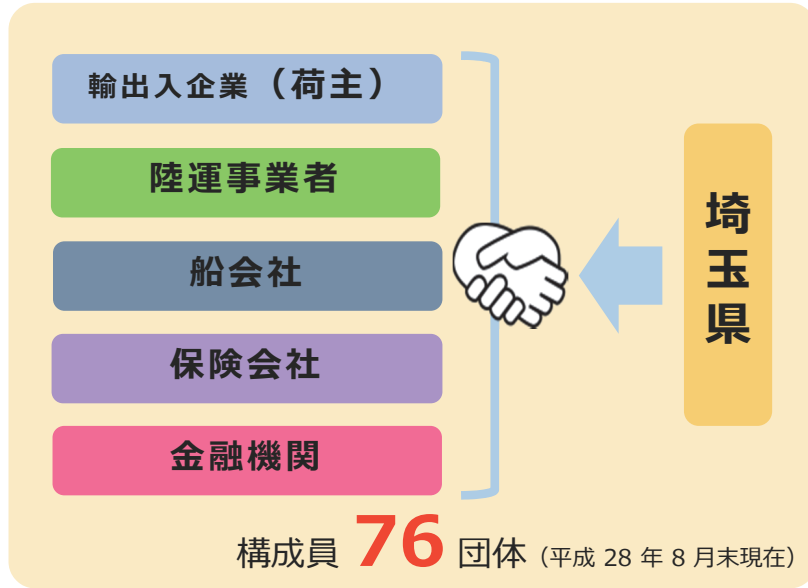
コンテナを港に返却することなく継続して利用



非効率な物流から

効率的な物流へ

埼玉県コンテナラウンドユース推進協議会



多社異業種による構成

荷主や陸運事業者、船会社など多社異業種から構成され、新たな連携が生まれる場であり、マッチングに繋がっています

企業連携・推進活動を埼玉県が後押し

自治体がラウンドユースを推進しようとする**仕組みづくり**は全国で初の試みです

情報交流の場を提供

構成団体が一同に集まる協議会を開催し、県からの報告や、構成員からの事例発表などを行い、**企業間の情報交流の場**を提供しています

平成28年度は、分科会を開催し、実務レベルでの議論の場を設けています



タツミデポ (埼玉県狭山市)



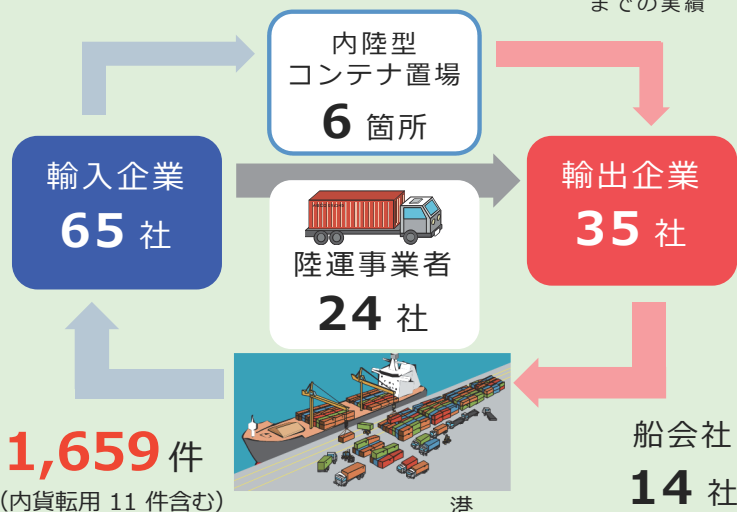
八潮運輸デポ (埼玉県八潮市)

“お試しデポ” 試験運用

空コンテナを一時仮置きできるインランドデポを、お試しデポとして公募し、**コンテナマッチングの機会増大**を図っています

埼玉コンテナラウンドユース社会実験

※平成28年1月末までの実績



社会実験の実施・検証

ラウンド実績を構成員から報告して頂き、**ラウンドユースの現状を把握・検証**する社会実験を行っています

輸送距離

33.4 %減

輸送時間

39.6 %減

CO₂排出量

130 t削減

輸送コスト

21.2 %減

埼玉県の産業を支える 物流環境を目指して

東日本の大動脈である「東北」・「関越」・「常磐」
自動車道が南北に縦断

それらを東西に結ぶ「外環道」・「圏央道」が
県内全線で開通

首都圏の巨大なマーケットの中心に位置し、交通
の要衝としての好立地



過去10年間の企業転入超過数
全国 **1位** 1,324社 (H14~H23の10年間)

物流・保管施設候補地
全国 **1位** (H26)

工場候補地
1位 海外 2位 愛知県 3位 **埼玉県**

出典) (株)帝国データバンク資料

埼玉県では、過去10年間の
企業本社の転入超過数が1位である
など、企業立地のニーズが高く、県内の
物流量が年々増加しています。

そのため、県内の産業活動を支えるため
に、効率的な物流環境が重要です。

県では、物流効率化の取組を通して企業
や県民に寄与していくことを目指してい
ます。

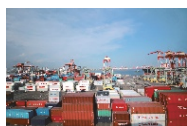
コンテナラウンドユースの取組と一緒に取り組みませんか

埼玉県コンテナラウンドユース推進協議会では、随時、
コンテナラウンドユースを推進し、相互に課題解決に
取り組む構成員を募集しています



埼玉県コンテナラウンドユース

検索



CRU先進部会

内貨転用やSOCなど、先進的
な取組を検討



輸出入情報共有部会

マッチングの仕方や効果的な
システム等について検討



お試しデポ体験部会

コンテナチェックの仕方等
を見学しデポの紹介を行う

★構成員以外の参加も可能！

埼玉県HPから申込書をダウンロードできます

最新情報のほか、設立趣意書、設置要綱、
構成員一覧、活動内容などをご紹介します
電話やメールなどでお気軽にお問合せください

【お問合せ先】

埼玉県 都市整備部 都市計画課 総務・企画担当
〒330-9301

埼玉県さいたま市浦和区高砂三丁目15-1 第二庁舎2階

電話：048-830-5337 FAX：048-830-4881

E-mail：a5330-07@pref.saitama.lg.jp